

特集 議会の目線 町のインフラに注目!

平成28年に策定された第5次総合振興計画では、10年後の小川町の姿を見据えたまちづくりを目標として基盤の充実を図ると記されています。さらに実施計画では、これらの基本計画を実施するため財政状況を考していき」とされています。計画に無理はなかったのか？ 計画は順調に進んでいるのか？ 今回の特集で議員の目線も記し、まとめてみました。

います。その基本計画第3章では、道路や交通を整備し都市慮した3カ年の具体的事業内容を示したもので、「毎年見直は、数ある分節の中で「道路・交通」をクローズアップ！

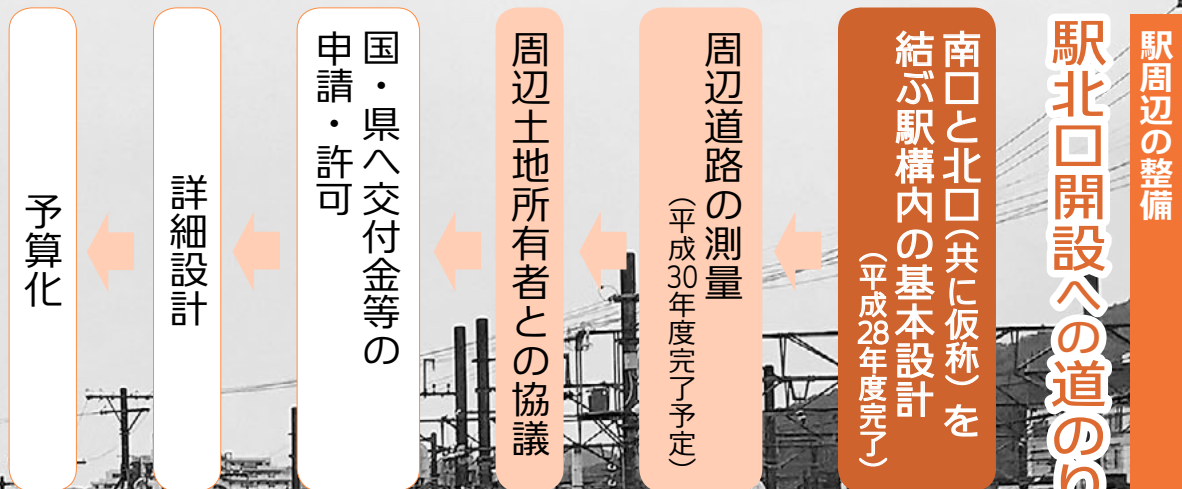
- 第5次総合振興計画の基本目標
- 1 人が輝くまち <参加と協働の推進>
 - 2 豊かな心を育むまち <教養・文化の振興>
 - 3 安全で住みよいまち <都市基盤の充実>
 - 4 快適な環境のまち <生活環境の整備>
 - 5 健康で安心して住めるまち <保健・医療・福祉の充実>
 - 6 活力ある産業のまち <産業の振興>
 - 7 自立した経営のまち <計画の推進>



計画どおりの工事完了を

Q 橋脚補強工事の見直しは。
A 平成36年度完了予定で総工費は7億3300万円です。平成30年度の工費は2億8600万円、進捗率は工事全体の40%です。

橋りょうの整備 中央陸橋工事



どうなる？ どうする？ 町の玄関



チェック、ダブルチェック
 こまめな点検を

る橋、崩落
 等で集落が
 孤立化する
 橋、等を考
 慮し修繕計
 画が立てら
 れます。

Q 耐震補強工事の優先順位は。
A 災害時における緊急輸送路に指定されている道路にかかる橋、線路や道路の上にかかる

Q 橋りょう
 保守点検は。
A 道路法で義務づけられている定期点検に基づき、5年に一度点検を行っています。



業者との連携を密に、
 持続可能な運営を

の再検討を要望したい、などがありました。

Q 課題は。
A ①時間外の問い合わせがある
 ②電話がつかないとのクレームが増えた
 ③需要と供給のバランスがとれない(運転手不足)
 ④利用者増により、お客様の待ち時間に不便を与えてしまっている
 ⑤タクシー業務とデマンド業務の両立が難しい
 ⑥利用年齢・時間・金額などの再検討を要望したい、などがありました。

Q タクシー事業者に聞く
A 登録者数は。
A 平成30年3月末、3695人の登録がありました。

公共交通空白地域の解消 デマンドタクシー



県だけを頼らずに
 町も積極的な行動を

Q フラット化が進んでいるが。
A 平成29年度は、停車場線入り口交差点から相生町交差点までの約120メートルが施工されました。平成30年度は、相生町交差点から晴雲酒造間の310メートルを計画しています。

歩道

Q 環状1号線の進捗状況は。
A 平成30年3月時点で、用地買収率が96%、工事進捗率は52%です。
Q 県道本田・小川線の開通は。
A 県は、県道熊谷・小川線交差点から、北側の町道228号線交差点部までの区間を先行して開通させる考えです。

幹線道路 道路の整備